

山本裁判勝利！第24回東京地区分会大会を開催

「声をあげよう！職場から！」 「反対しよう！戦争・原発・リニア！」

私たちは7月29日京橋区民館において、11人の組合員と3名のOB、そして9人の来賓が参加し第24回東京地区分会大会を開催しました。

廣島副委員長の司会で開会が宣言され、亡くなった松本・田中両先輩の霊に黙とうを捧げ、横山さんが議長に選出され大会が始まりました。

佐藤分会長からは「山本裁判の勝利はJR東海会社の強権的人事運用に穴をあけたことを意味する。」「出向協定には延長規定がない。本人同意の必要。という私たちの主張が正しかった。しかし正しいから勝てる訳ではない。私たちの直球勝負を受け止めた裁判官がいた。」「裁判傍聴にかけつけてくれた東海労の仲間の力に感謝する。」「たしろかおる再選準備に向けて今から取り組もう」「組合員との対話をつくる」「駅還流組合員との交流と分会所属問題の議論をつくる」とのあいさつがありました。



来賓からは地本成田委員長より「山本裁判では民法をも使った。7・18集会の記録を文章で残す。」本部小林書記長より「山本さんは職場でものを言い、自分のハードルを越えた。たしろ選対本部を設置した。」車両所分会板倉副委員長より「車両では山本さんの受け入れ態勢は出来ている。」東一運佐藤執行委員。東二運内村書記長。地本OB会尾崎事務長からもあいさつを受けました。

質疑では矢口さんより「山本はよく頑張った。自分も出向先で言いたいことを言い職場改善してきた。」平山さんより「形は和解だが完全勝利だ。また優秀な弁護士と真面目に考える裁判官にあたった。」「組織拡大を具体化しよう」横山議長より「職場での遺失物取扱でのトラブルについて」尾崎次さんより「我々が思う以上の勝利だ。会社の反撃に警戒しよう。」丸山さんより「たしろ選は厳しい。民主党の評判が悪い。」増永さんより「出向先で頑張っている」OBの田中さんや石山さん、さらに東二運OB出畑さんからも意見をもらいました。

管野書記長の総括答弁は「山本裁判の勝利は、和解に応じた会社は外部要因であり、山本さん自身の決意と怒りがあったから勝てた。」「労働審判でのジグザグ、弁護士との関係などもあったが、そこから山本は立ち上がった。」「駅還流者の要求も分会として取り組んでいく。」

大会終了後には退職される横山さん、地本特執を降りた尾崎さん、車両所に行く山本さんの激励会を盛大に開催しました。